

# 子どもの居場所 づくりに支援を

答 本町にあう形で検討して取り組む



玉城 陽平 議員



**問** 待機児童の状況はどのようになっているか。

**こども課長** R8で合計56名となり、今後は津嘉山小学校区で1施設の新設を予定している。

**問** 地域に受け皿となる子どもの居場所が豊富にあることが望ましいと地域福祉的な観点から考える。国の指針もでき、コデイネーター配置など、活用できる事業もある。支援を検討してほしいかどうか。

**こども課長** 目の前の学童の待機児童の解決に取り組みつつ、調査研究して本町にあった形を検討してやっていく。



子どもの居場所のイメージ

指定管理導入の検討を

**問** 都市公園、児童館での指定管理の導入を検討してほしいかどうか。

**町長** 両者において意義のあるものだ。

**問** 都市公園においては、パークマネジメントプランを導入し、町としての公園の経営方針を民間と共有すべきと考えるかどうか。

**都市整備課長** 有効な手法で、調査研究していく。

**問** 児童館について、R4にはガイドラインも改訂され、子どもの権利、中高生の利用拡大など、新しい形が求められる。議論を進めてほしいかどうか。

**こども課長** 4館中1館での導入を目指し調査研究している。H30に条例改正も行なったが、財政面等の課題で断念した。現在は施設面の整備を

進めており、検討を進めていく。

災害福祉の取り組みを

**問** 災害時の要支援者の個別避難計画の策定状況は。

**町長** 約0.9%で58人である。R8より防災対策班で名簿の整備をしていく。

**問** 福祉避難所のほとんどが児童福祉施設である。利用が想定される方々に合わせて多様な福祉施設での整備を求めているかどうか。

**町長** 町内の福祉施設等に依頼を行い、協定締結の推進に取り組んでいく。

こんな質問もしました

- ・ マネジメント人材の育成を問う
- ・ 金融教育・お金の教育を問う
- ・ 困難な状況の妊産婦・母子への支援を問う